

注目！在宅医療関連サービス 014

人と組織 デンタルサポート

道坂まや

歯科衛生士



 soshiki-dental.net

ビジョン

離職率が高い歯科衛生士の働き方を変え、専門職として誇りを持つつ組織で機能する仕事にし、業界全体の成長を目指しています。

歯科クリニックや介護施設では、人材不足や離職、院長とスタッフの関係性など、組織運営に関する悩みが後を絶ちません。こうした現場の課題に、歯科衛生士という立場から真正面から向き合ってきたのが「人と組織 デンタルサポート」の道坂まや代表です。道坂まや代表は、歯科衛生士としての挫折と再出発、歯科クリニック現場での組織改革の実践を経て、現在はキャリアコンサルタントとしても活動。「辞めない組織」をつくるのではなく、「人が育ち、組織が進化し続ける状態」を目指し、院長が診療に専念できる体制づくりや、スタッフ一人ひとりのキャリア支援を行っています。道坂まや代表の歩みとともに、歯科・介護業界における組織マネジメントの本質を紐解きます(2025年12月取材)。

歯科衛生士で再出発と歯科クリニック現場で磨いた組織マネジメントの原点

まず、道坂さんが歯科衛生士を目指したきっかけについて教えていただけますか？

かなり切実な背景があったと伺いました。

そうですね。もともとは子供が小さい時に働きたかったのですが、条件に合う仕事がたまたま歯科助手しかなかったというのが業界に入った最初の入り口でした。その後、2008年頃に離婚を経験しまして、生活を安定させるために正社員になりたいと考えたのですが、当時はなかなか職が見つかりませんでした。

仕方なく派遣社員として市役所の窓口業務に就いたのですが、ある日、近所から「子供を育てる声がうるさい」と児童相談所に通報されてしまったんです。

それは大変な経験でしたね……。

しかも、24時間以内の安否確認に来た担当者が、たまたま仕事で知り合いだった方で。そこで私が抱えていた経済的な不安——月給10~16万円程度で、子供が熱を出して休めば給料が引かれてしまう不安定な生活——を吐露したところ、当時の制度で「母子特殊技能訓練」という制度を教えてもらったんです。

学校の費用は自腹ですが、在学中の生活費が国から支払われるというもので、以前から興味のあった歯科衛生士の資格を取ろうと決意しました。学費のために東京都から借金をしながら、3年間学校に通いました。



学生生活と子育て、さらに借金返済となると相当ハードだったのではないか？

学費だけで240万円、材料費なども含めるとトータル320万円ほどかかったので、とにかく必死でした。昼間は学校に通い、土日や長期休みはホテルのラウンジや結婚式場などでアルバイトをしていました。借金を早く返したくて、休みなく働き詰めの3年間でしたね。

卒業後、歯科衛生士として最初に勤務された歯科クリニックはどのような環境でしたか？

2013年に卒業後、一般歯科と往診を行っている歯科クリニックに就職し、8年間勤務しました。そこは分院が4つある比較的大きな法人でした。

外来診療だけでなく、訪問診療も行っていましたので、介護施設などの現場で、限られた時間と人数で効率よく診療を行う事が、常に求められるスキルでした。これが今の組織マネジメントの基礎になっているかもしれません。

現場ではかなり中心的な役割を担われていたそうですね。

ええ。特に印象に残っているのは、当時の医院の方針で夜11時まで診療していました。

遅い時間はドクターと先輩歯科衛生士、私を含めた精鋭部隊4人で回すのですが、そこに研修医の先生やパートスタッフが出入りするので、複雑なシフト管理が必要でした。「誰が何時に来て、何時に帰るか」「誰と誰を組ませるか」を統括し、スムーズに診療が回るよう現場監督のような動きをしていましたね。

その頃から既に組織マネジメント的な視点を持たれていたのですね。当時はどのようなことに葛藤を感じていましたか？

現場を回すためのマネジメント業務をこれだけやっているのに、それがお給料に全く反映されていないことに強い疑問を感じていました。歯科衛生士の給与体系にはどうしても頭打ちがあって、どんなにスキルを上げても「結婚」が前提のような給与水準から抜け出せないです。

また、当時院長の側にいたマネージャー的な立場の人がありました。院長の顔色ばかり伺う「イエスマン」で、実際のマネジメントは現場が行っていたので「衛生士としての業務以外に、私の目指すマネジメントを行う事で、評価されるようにならないものか」と考えるようになりました。



歯科衛生士学校の学生だったころ



院長のイエスマンから脱却し成果を出す 歯科衛生士による組織マネジメント

独立して経営支援の道へ進もうと思われた具体的なきっかけは何ですか？

歯科衛生士として臨床以外のスキルとして「組織マネジメント」を極めれば、その価値対価として報酬が得られるのではないかと考えました…



続きを読むQRコードからアクセスしてください → → →